

# 教 育 研 究 業 績 書

令和 6 年 5 月 12 日

氏名 熊谷 旬一郎

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
運動学、機能解剖学、骨関節障害理学療法学	運動器、運動器リハビリテーション、アクティブラーニング	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概 要
1 教育方法の実践例 (1) 講義と実習（実技）のハイブリッド型教育の展開	平成30年4月～	科目：運動学 理学療法学科1年生を対象に講義と実習を行っている。各論において講義の翌週に当該分野に関する実習を設けることで、習熟度の向上を目指している。
	令和3年4月～ 令和4年3月	科目：物理療法学 理学療法学科2年生を対象に講義と実習を行った。講義の翌週に当該分野に関する各種物理療法機器実習（小グループ）を行い、習熟度の向上を図った。
	令和3年4月～	科目：骨関節障害理学療法学 理学療法学科3年生を対象に講義と実習を行っている。代表的な運動器疾患に対する理学療法評価・治療を実技を交えて実施している。
(2) アクティブラーニングを用いた教育の実践	平成29年4月～	科目：機能解剖学（Ⅱ）下肢 理学療法学科2年生を対象に講義内で、小テスト、講義、振り返りを実施している。加えて、ペアシェアや簡単な実技を行うことで、習熟度の向上を図っている。
	平成29年4月～	科目：画像評価法 理学療法学科3年生を対象に講義内で、演習やグループワークの時間を設け、学生の能動的参加を促している。また、画像データや動画教材を組み合わせ読影能力の向上を図っている。
	平成30年4月～	科目：運動学 理学療法学科1年生を対象に講義内で、小テスト、講義、振り返りを実施している。さらにペアシェアなどで学生の能動的参加を促し、知識の定着化を図っている。
	令和5年4月～	科目：スタディスキル 理学療法学科1年生を対象に講義内で、演習やThink Pair Shareの時間を設け、学生の能動的参加を促す試みを実施している。
(3) 科目間連携による系統的教育の展開	平成30年4月～	科目：運動学 解剖学で教授する分野の時間軸と一致させることで学習内容の刺激頻度を高め、知識定着の効率化を目指している。
2 作成した教科書、教材 (1) 講義用Power Pointおよびプリント補助教材の作成	平成26年4月～	学校指定の教科書、参考書に加え複数の書籍を引用した資料を作成し、改変を重ねている。Power Pointは、視覚入力を高めるために写真、動画、3D教材などを用い、イメージがしやすいよう工夫している。
	平成28年4月～	国家試験の出題範囲に準拠した内容としている。図・表問題、1問1答形式、選択形式で作成し、改変を重ねている。
	平成28年4月～	当該内容の到達度を確認するため、適宜小テストを実施している。
3 教育上の能力に関する大学等の評価 (1) 伊勢志摩リハビリテーション専門学校授業評価アンケート	平成29年4月～	担当科目での授業アンケートを実施し、学生からの評価・要望を今後の講義に活かしている。

<p>4 実務の経験を有する者についての特記事項</p> <p>(1) 臨床実習指導者経験</p>	<p>平成23年4月～平成26年3月</p> <p>平成27年4月～平成28年3月</p>	<p>木村病院（前職）にて、見学実習、評価実習、総合実習の実習指導を経験した。</p> <p>伊勢志摩中央リハビリテーションセンターにて、4年生の学生に対し、実習指導を行った。</p>
<p>(2) 講師・座長・準備委員など</p>	<p>平成27年7月</p> <p>平成28年6月</p> <p>平成28年11月</p> <p>平成29年3月</p> <p>平成29年4月～平成31年3月</p> <p>平成29年～令和3年</p> <p>平成30年10月</p> <p>平成31年8月</p> <p>平成31年11月</p> <p>令和4年2月</p>	<p>理学療法週間事業 ボランティアスタッフ</p> <p>第1回三重県理学療法士会研修会 座長</p> <p>三重県理学療法士会実技講習会 座長</p> <p>第28回三重県理学療法学会 準備委員</p> <p>三重県立伊勢工業高等学校バレーボール部 メディカルスタッフ</p> <p>三重県理学療法士会 新人教育プログラム「一次救命処置と基本処置」 講師</p> <p>第34回東海北陸理学療法学会（三重） 当日スタッフ</p> <p>伊勢市社会福祉協議会「夏休みちよこっと福祉体験」講師サポート</p> <p>三重県理学療法士会特別研修会 座長</p> <p>第32回三重県理学療法学会 準備委員・教育講演司会・一般演題座長</p>
<p>5 その他</p> <p>(1) 三重県理学療法士会 学術局研修部 役員</p> <p>(2) 全国リハビリテーション学校協会 東海ブロック教育部 役員</p> <p>(3) 教育に関する研修会 修了実績</p>	<p>平成28年～</p> <p>平成29年～令和4年</p> <p>平成26年8月</p> <p>平成28年8月</p> <p>平成28年12月</p> <p>平成29年12月</p> <p>平成30年11月</p> <p>平成31年8月</p> <p>平成31年12月</p> <p>令和2年12月</p> <p>令和3年11月</p> <p>令和5年11月</p>	<p>研修会の企画・運営（年3回）</p> <p>研修会の企画・運営（年1回）</p> <p>第27回 全国リハビリテーション学校協会教育研究大会・教員研修会（岡山） 修了第（第270202号）</p> <p>第29回 全国リハビリテーション学校協会教育研究大会・教員研修会（香川） 修了（第290392号）</p> <p>全国リハビリテーション学校協会 第3回東海ブロック教育部研修会 修了</p> <p>全国リハビリテーション学校協会 第4回東海ブロック教育部研修会 修了</p> <p>全国リハビリテーション学校協会 第5回東海ブロック教育部研修会 修了</p> <p>第32回 全国リハビリテーション学校協会教育研究大会・教員研修会（愛知） 修了</p> <p>全国リハビリテーション学校協会 第6回東海ブロック教育部研修会 修了</p> <p>全国リハビリテーション学校協会 第7回東海ブロック教育部研修会 修了</p> <p>全国リハビリテーション学校協会 第8回東海ブロック教育部研修会 修了</p> <p>全国リハビリテーション学校協会 第9回東海ブロック教育部研修会 修了</p>

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格, 免許 ・理学療法士免許  ・第41回 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設等教員講習会 修了  ・認定理学療法士 学校教育	平成21年4月  平成26年12月  令和4年4月	第74573号  第4582号  N22-0005783
2 特許等 該当なし。		
3 実務の経験を有する者についての特記事項 (1) 職務上の実務経験 ・木村病院  ・伊勢志摩中央リハビリテーションセンター  ・中井整形外科	平成21年4月～平成26年3月  平成27年4月～平成28年3月  平成27年4月～	理学療法士（常勤）として、回復期および外来リハビリテーション（運動器）を担当。  理学療法士（非常勤）として、通所リハビリテーションを担当。  理学療法士（非常勤）として、外来リハビリテーション（運動器）を担当。
(2) 講師・発表など	平成25年4月～平成26年2月  平成26年1月  令和4年8月～令和5年6月  令和5年7月～	木村病院（前職）にて、リハビリテーション科職員を対象に実技研修会の講師を担当した。  木村病院（前職）の法人症例発表会にて、「右片麻痺患者の歩行自立に向けた取り組み」について口述発表を行った。  中井整形外科にて、症例検討会（運動器疾患）を実施した。  中井整形外科にて、理学療法士を対象に運動器疾患に対する実技を含めた研修会の講師を担当している。
(3) 職務に関する研修会 修了実績	平成20年10月  平成24年9月  平成27年1月	NPO法人運動器機能開発研究会 運動療法セミナー（基礎・実技） 修了  体表解剖学研究会 第16回運動器系体表解剖セミナー（Bコース） 修了（第584号）  日本NLP協会 プラクティショナー認定コース 修了
4 その他 (1) 学内での担当職務 ・カリキュラム担当  ・校内掲示物担当  ・授業評価アンケート担当  ・ハラスメント担当	平成27年1月～  平成30年3月～  令和5年4月～  令和6年4月～	毎年、年明けから年度末にかけて見直しと編成を行い、より質の高い教育内容になるよう工夫している。また、ポリシーや各種規定を作成し、教育体系の充実を図っている。  校内及び教室の掲示板を利用し、理学療法士の啓蒙や学生のモチベーション向上が図れるよう工夫している。定期的に貼り替えることで、気づきや学びを促している。  授業構成、進め方、伝え方、関わり方、学生の授業へのモチベーションについて5件法でアンケートを作成した。アンケート結果（自由記述を含む）を集計し、担当教員にフィードバックをしている。  ハラスメント規定を作成し、学内での周知活動や事例の対応を行っている。
(2) 各種申請書類の作成など	令和3年4月～  令和3年4月～	大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請 申請書類の作成  公益財団法人日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導員資格取得認定校（初級） 申請書類の作成

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 該当なし。				
(学術論文) 該当なし。				
(その他)				
1. 在宅介護高齢者の性差によるリスクの検討	-	平成27年6月	第50回 日本理学療法学会学術大会（東京）	青山満喜，山口倫直， <u>熊谷旬一郎</u>
2. 高齢者の栄養状態は転倒予防の指標となり得るか	-	平成31年12月	第6回 日本地域理学療法学会学術大会（京都）	青山満喜，伊藤三幸，上之郷由希， <u>熊谷旬一郎</u>
3. 地域在住高齢者の上腕・下肢最大周径は筋力低下を推測する指標となり得るか	-	平成31年10月	第6回 日本予防理学療法学会学術大会（広島）	青山満喜，伊藤三幸，上之郷由希， <u>熊谷旬一郎</u>
4. 高齢者のポリファーマシーは立位時の重心動揺に影響するか	-	令和3年10月	第37回 東海北陸理学療法学会学術大会（静岡）	青山満喜，山口倫直， <u>熊谷旬一郎</u>
5. 対象者の年齢と評価項目間の差異の検討	-	令和4年4月	第30回 愛知県理学療法学会学術大会（愛知）	青山満喜，山口倫直， <u>熊谷旬一郎</u> ，山本剛生